

#### ④課題名：オリジナルリンドウの生産拡大

実施期間	令和2年～令和3年
担当者等	農林（水産）事務所、農業振興課、ぶちうまやまぐち推進課、花き振興センター
目標項目	県オリジナル品目の作付け面積（R2:337a→R4:500a）
活用事業	園芸・薬用作物生産転換促進事業、県産花き彩り創出事業他

### 1 課題の背景

平成26年に耐暑性のある「西京の初夏」が品種登録されて以来、リンドウは山口県の花き推進品目として、新品種育成による作期拡大や産地育成に取り組んできた。また、平成29年度からは、重点項目推進会議や技術対策会議として位置づけ、生産から販売まで、関係機関が連携した取り組みを強化した結果、県内全域に産地が拡大した（H26:133a→R2:337a）。

しかし、令和4年度の作付け目標を実現するためには、生産面では、集落営農法人への作付け誘導に加え、初期生育の安定化や高温障害対策、訪花昆虫対策等の技術課題への対応が必要である。さらに、流通面では、効率的な集出荷体制の構築に向け、関係者の連携による出荷予測情報の共有化など計画出荷を実現する取組が必要である。

### 2 目的及び目標

- (1) 集落営農法人等への推進強化による、栽培面積拡大(R4年度：栽培面積500a)
- (2) 品質向上技術の実証
- (3) 品種特性に応じた栽培技術の実証
- (4) J A共販を核とした、需給調整機能の強化と計画出荷の実現

### 3 スケジュール（全体計画：複数年実施の場合）

- (1) 集落営農法人等への推進
  - ・既存導入法人の実態整理（R2）
  - ・経営指標の見直し（R3）
  - ・推進チラシ改訂、新規栽培者掘り起し（R2～3）
- (2) 品質向上技術の実証
  - ・寒冷紗と防虫ネットによる品質向上対策の実証（R2）
- (3) 品種特性に応じた栽培技術実証
  - ・「西京の白露」「西京の瑞雲<sup>ずいうん</sup>」の地域適応性の把握（R2～3）
- (4) 計画出荷に向けた出荷体制整備
  - ・定期的な生育情報の集約化による出荷予測情報の作成（R3）
  - ・新たな集出荷体制の検討（R2～3）

#### 4 R3年度活動内容（役割分担）

##### （1）集落営農法人等への推進

- ・既存生産法人の現状や課題の整理による推進方法の検討  
【農業部、就農・技術支援室、農業振興課】
- ・新規栽培者確保に向けた、経営指標の見直しや推進チラシの作成【就農・技術支援室】

##### （2）品種特性に応じた栽培技術実証

- ・新品種「西京の瑞雲<sup>ずいうん</sup>」の地域適応性の把握【岩国、下関、長門、就農・技術支援室、花き振興センター】
- ・栽培マニュアルの見直し【花き振興センター、就農・技術支援室】

##### （3）計画出荷の実現に向けた出荷体制の整備

- ・各産地における生育状況や出荷予測の情報共有体制の確立  
【農業部、就農・技術支援室、農業振興課】
- ・共販を核とした、関係者の連携による需給調整と新たな出荷体制の検討  
【農業振興課、ぶちうまやまぐち推進課、就農・技術支援室】

時期	活動内容
4月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間出荷計画の作成</li> <li>・新たな出荷体制の検討</li> </ul>
5月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県域調査研究課題会議・花き担当者会議 出荷予測調査方法、今年度活動計画の検討等</li> </ul>
5～10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷予測情報による情報共有体制の確立</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JA共選共販の試行</li> </ul>
11月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進チラシ改訂、配布</li> <li>・リンドウ部会研修会 実証試験報告、販売実績報告等</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県域調査研究課題会議・花き担当者会議 実証試験結果報告と次年度計画協議</li> <li>・次年度計画作成</li> </ul>

## 5 結果

### (1) 集落営農法人等への推進

- ・既存生産法人の現状や課題の整理による推進方法の検討
- ・集落営農法人へのリンドウ栽培を推進するチラシを作成。作型ごとの経営指標の見直しを進めた。

### (2) 品種特性に応じた栽培技術実証

- ・新品種「西京の瑞雲<sup>ずいうん</sup>」の地域適応性の把握するため、岩国・下関・長門に実証ほを設置。定植1年目株の生育調査を実施、すべての区で生存株率は9割以上、病虫害の発生はほぼ見られなかった。

### (3) 計画出荷の実現に向けた出荷体制の整備

- ・オリジナル花き情報を作成し、各産地の生育・出荷状況を毎月2回、関係機関と情報共有する取り組みを始めた。
- ・7月にJAの共選共販体制を9回試行し、4地域の生産者が出荷。また10月から各地域で反省会を実施し、次年度に向けた課題等を生産者と関係機関とで検討した。

(参考) 表1 オリジナルリンドウ栽培に取り組む農業法人等

	R1実績 → R4目標 面積(法人数)	各法人における 栽培面積の推移	R1 (a)	R2 (a)	R3 (a)
岩国	0.0 a (0) → 5.0 a (1)	——	0.0	0.0	0.0
柳井	12.8 a (2) → 23.0 a (3)	あいさいの里	8.1	8.1	0.0
		いかち・トラタン村	4.7	4.7	0.0
周南	0.0 a (0) → 10.0 a (2)	——	0.0	0.0	0.0
山口	3.3 a (1) → 17.0 a (2)	土里夢しまじ	3.3	4.0	4.9
美祢	28.7 a (3) → 35.0 a (4)	ほんごうファーム	22.7	22.7	12.0
		七日町営農組合	2.6	2.9	4.3
		中辺	3.4	3.4	2.6
		嘉万の里		0.3	0.3
下関	9.5 a (1) → 15.0 a (2)	しもきば	9.5	10.2	8.0
長門	0.0 a (0) → 5.0 a (1)	——	0.0	0.0	0.0
萩	14.3 a (4) → 19.0 a (5)	増丸園芸	7.1	7.1	1.4
		おおじもファーム	0.3	0.3	0.3
		佐々並中央	2.3	1.9	0.7
		弥富5区	4.6	5.4	3.0
		明木中央		0.9	1.2
小計	68.6 a (11) → 125.0 a (20)		68.6	71.9	41.0

表2 オリジナルリンドウに取り組む個人生産者

	R1実績 → R4目標	R1		R2		R3	
		(a)	(人)	(a)	(人)	(a)	(人)
岩国	32.4 a → 41.0 a	32.4	12	31.0	13	35.0	12
柳井	14.6 a → 34.0 a	14.6	6	19.0	8	14.6	5
周南	36.3 a → 68.0 a	36.3	18	31.0	12	72.0	14
山口	14.2 a → 30.0 a	14.2	9	11.0	7	20.0	4
美祢	41.1 a → 55.0 a	41.1	7	53.0	7	56.8	8
下関	80.4 a → 98.0 a	80.4	15	102.0	15	35.3	10
長門	5.2 a → 35.0 a	4.0	4	4.0	4	4.0	4
萩	13.0 a → 10.0 a	5.2	1	5.0	1	10.7	6
小計	237.2 a → 375.0 a	237.2	72	265.0	69	248.4	63
合計	305.8 a → 500.0 a	305.8	82	336.9	82	319.0	99